



せがさきの風

〒236-0037 横浜市金沢区六浦東三丁目2番1号
 <TEL>781-2446・2447 <FAX>701-4892
 <MAIL> y3segasa@edu.city.yokohama.jp
 <HP> <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/segasaki/>



夏を迎えて

～ 素朴な疑問を大切に～

副校長 登坂 峰行

「百花に先駆けて咲く」と言われる梅の花が咲いてから暦も進み、季節も変わりました。職員室前のびわに代わって、今は山桃の実が熟しています。学校探検に出かけた1年生が、熟した梅の実を手を持って帰ってきました。今年も梅雨の季節になりました。

梅雨の合間の青空は気持ちのよいものです。現在の6月は旧暦の5月にあたり、6月の晴れ間は「五月晴れ」とよばれてきました。雨が続き湿気の多いこの時期、清々しい晴れ間は子どもたちにとって外で活動できる大切な一日になっています。体育や生活科、理科、そしてリフレの時間には校庭がとても賑わいます。明るい歓声があすれの森にこだまし、「五月晴れ」の太陽から降り注ぐ日差しはさらに輝きを増しているようです。

6月17日にはプール開きが行われ、本年度の水泳学習が始まりました。この頃になると20年以上前の印象深い出来事を思い出します。

夏休みの水泳教室が終わった時のことでした。ある男の子がシャワーを浴びフェンスにかけてあるタオルを手を取った時、ぬれた水泳帽子から一滴の水がコンクリートの上に落ちました。夏の強い日差しにさらされていたコンクリートに落ちた水滴は、一瞬黒っぽいシミをつくったものを見る見るうちに蒸発してしまいました。男の子は食い入るようにその様子を見ていました。彼はもう一度水泳帽から水を落としました。今度も見る見るうちに黒っぽいシミは小さくなっていきました。彼は顔を上げ、友達を呼びました。「ねえ、見て。」

今までにないような凄い速さで水が蒸発していく様子を初めて見て、とても驚いたのでしょう。もう一度確かめても同じでした。いったい何でなんだろう。すぐに乾く理由を一生懸命に考えたと思います。夏だから。暑いから。日差しが強いから・・・。

子どもたちの日常生活には驚いたり不思議に思ったりする場面が常にあると思います。今まで見たことがないことやいつもと違うことなどに気づいた時、「なぜなんだろう」と思います。この思いが学習の中でも成り立つことが大切です。調べてみたい、確かめてみたいという自発的な活動につながり、学びが始まります。活動意欲を十分に生かし、子ども主体の授業を行うことがわかる喜びにつながり、自尊感情の高まりを実感することにもなると考えます。子どもたちの感じた疑問を大切にしていけることを通して「あっ、そうか、わかった。」「やった、できた。」の言葉につながるよう、日々の授業改善に取り組んで参りたいと思います。

6月22日に夏至を迎え、地域からの「夏祭りのお知らせ」が届く頃となりました。2年生の育てている野菜も実が大きくなりました。梅雨明けはもう少し先のようにですが、夏本番を迎える準備は進んでいます。やがて1年生のアサガオがたくさん咲く頃、子どもたちが楽しみにしている夏休みがやってきます。健康で安全に、そして楽しい夏休みを過ごしてほしいと願っています。